

令和5年1月12日

関係各位

九州大学大学院人文科学研究院附属
言語運用総合研究センター
センター長 静永 健

セミナーチラシおよびパンフレットのご送付

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当センターでは、来たる3月に社会連携特別セミナーを開催いたします。主な対象は言語聴覚士、国語教員、日本語教師となりますが、セミナー内容に関心をお持ちの方であればどなたでも参加自由となっております。つきましては、同封のポスターの掲示等、当該領域に関心をお持ちの方への周知をお願い申し上げます。

また、センターの活動を広く知っていただきたく、パンフレット「言総研通信 vol.3」を作成いたしましたので、勝手ながら送付させていただきます。つきましては、興味のある方にご配布いただけますと幸甚です。

ご不明点等がございましたら、言語運用総合研究センター (cslpstuff@gmail.com) までお問合せください。

敬具

記

- ・言語聴覚士セミナー「小児の書字障害の理解・評価・支援」チラシ 1部
- ・国語セミナー「チンプンカンプンを楽しもう」チラシ 1部
- ・日本語教師セミナー「日本語学習環境とレジリエンス」チラシ 1部
- ・「言総研通信 vol.3」(パンフレット) 3部

以上

チンプンカンプンを楽しもう

俗に言う「ちんぷんかん」は江戸時代から文献に見える古い言葉で、儒学者の難しい言葉遣いをひやかしたものの、とか、長崎にやってきた異邦人(中国人が最も多い)の外国語を指したものの、とか、諸説あるようです。現代では国語の授業の「カンプン」がにが手な受験生のツイートに見える言葉、と言えるかもしれません。でも本当はさまざまな楽しみ方があるのです。さあ、コロナで久しくお休みしていた「国語」セミナーの再開です。

講師 **藤井 倫明先生** (九州大学准教授=中国哲学史)

「意味」か「意図」か——中国思想に流れる2つの言語観

中国の儒教には「経書」として尊ばれている書籍群がありますが、この「経書」に対する解釈は一様ではなく、歴史上、種々異なる解釈が出現しています。では、なぜ同じ儒教でありながら、こうした解釈の違いが生じるのでしょうか。今回の講義では、テキスト(言葉)の持つ「意味」と「意図」という二つの側面に注目し、言語観の違いという視点から中国思想における「経書」解釈の問題を考えてみたいと思います。

講師 **静永 健先生** (九州大学教授=中国文学)

「剽窃」か「オマージュ」か——『唐詩選国字解』の諸問題

江戸時代に大ベストセラーとなったのが明の李攀龍撰と言われる『唐詩選』ですが、その最大の火付け役となったのが服部南郭の講義録と言われる『唐詩選国字解』という書物です。これら二つの書籍には、当時の中国と江戸の「出版」に絡んだ複雑な裏事情があります。しかし、その大流行の原因を作ったキーマンは、何と明末の上海に生きた「盲目の読書家」でした。この驚異の異人をご紹介します。

日程・会場 **2023年2月24日(金) 14時30分～16時30分**
ハイブリッド開催

- (1) 対面：福岡市中央区天神2-12-1
天神ビル11階9号室 (定員120名 開場14時00分)
- (2) オンライン：Zoom (定員300名 入室用のリンクは
開催1週間ほど前にメールでお送りします)

お申込み

参加無料

- * 国語教員に限らず、どなたでもご参加になれます
- * 2月22日(水)までに、右のQRコードより登録を行ってください
- * QRコードが読み取れない際は、当センターのHPからお申し込みください
URL : <http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~cslp/>



お問い合わせ先：九州大学人文科学研究院附属言語運用総合研究センター (cslpstuff@gmail.com)

主催：九州大学文学部・社会連携推進委員会
運営：九州大学大学院人文科学研究院附属言語運用総合研究センター
後援：福岡県高等学校国語部会

「日本語学習環境とレジリエンス」

講師

伊藤 秀明先生（筑波大学准教授）

日程・会場

2023年3月4日（土）14:00—16:00

（13:30よりZoom接続可）

Zoomによるオンライン開催

（定員300名。入室用リンクは開催1週間前にメールでお送りします）

概要

参加無料

コロナ禍の試行錯誤を振り返ると、私たちは「失敗」ばかりだったでしょうか。「完璧とは言えないけれど、うまくいった」ということも多いのではないのでしょうか。「失敗を防ぐ」から「うまくいっていること維持する」ための戦略について考えていきたいと思えます。

お申込み

- * 日本語教師に限らず、興味のある方はどなたでも参加いただけます
- * 3月2日（木）までに、右のQRコードより登録を行ってください
- * QRコードが読み取れない際は、当センターのHPからお申し込みください
URL : <http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~cslp/>



お問い合わせ先：九州大学人文科学研究院附属言語運用総合研究センター（cslpstuff@gmail.com）

主催：九州大学文学部・社会連携推進委員会

運営：九州大学大学院人文科学研究院附属言語運用総合研究センター

後援：九州日本語教育連絡協議会（九日連）

九州大学人文科学研究院附属言語運用総合研究センター
社会連携特別企画「言総研 言語聴覚士セミナー」

小児の書字障害の理解・評価・支援

講師

河野 俊寛先生（北陸大学教授）

概要

限局性学習障害では、読字に困難があると書字にも困難が出現します。そのため、発達性読み書き障害という用語が、限局性学習障害を代表するものとして使用されています。しかし、読字には困難がなく書字のみに困難がある場合もあります。本講演では、小児の書字の発達過程、書字困難の症状、評価、ICTを活用した支援についてお話しします。

日程・会場

2023年3月11日（土）10時00分～12時00分
（9時30分よりZoom接続可）

Zoomによるオンライン開催

（定員300名。入室用リンクは開催1週間前にメールでお送りします）

お申込み

参加無料

- * 言語聴覚士に限らず、興味のある方はどなたでも参加いただけます
- * 3月9日（木）までに、右のQRコードより登録を行ってください
- * QRコードが読み取れない際は、当センターのHPからお申し込みください
URL：<http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~cslp/>



お問い合わせ先：九州大学人文科学研究院附属言語運用総合研究センター（cslpstuff@gmail.com）

主催：九州大学文学部・社会連携推進委員会

運営：九州大学人文科学研究院附属言語運用総合研究センター

後援：一般社団法人福岡県言語聴覚士会・麻生リハビリテーション大学校・福岡国際医療福祉大学・柳川リハビリテーション学院